



みなさん、夏休みを元気に過ごしていますか？ 今年3年ぶりに行動制限のない夏休み。解放感からコロナ対策を忘れてしまいそうですが、感染者の最多更新のニュースが入ると、不安に感じられる方もお見えではないでしょうか。軽症で済んだという方でも、その後、後遺症で悩む人もいと聞きます。基本的な感染症対策を徹底するとともに、自己免疫力を上げるためにも「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけて規則正しい生活を目指しましょう。

防災週間（8月30日～9月5日）



9月1日は、防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。またお子様にも、火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

家の中にも事故や怪我を招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認してみましょう!!

- ・子どもの手に届く場所においてはいけない物
(薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、ボタン電池など子どもが飲み込める大きさの細かい物など)
- ・踏み台になる物は、ベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する(喉に詰まることがある)
- ・浴室には子ども一人で勝手に入れないよう工夫する

ヘルペス性口内炎

感染するとウィルスが体内(特に神経節)に潜伏し、免疫力が落ちた時に口の周りや口内に水泡が出現します。完治しても体内にウィルスは居座るため、繰り返し発症(再発)するケースが多くみられます。

乳幼児の場合、親から感染することもあるので、口移しで食べ物を与えることや、タオルや歯ブラシ、食器などを共有しないようにしましょう。また、食事をして痛がる時は熱い物や刺激物を避け、口の周りを清潔に保ち、早めに受診しましょう。



～ 附属幼稚園の子育て相談 ～

育児相談や、母と子の心の健康に関する相談を受けいたします。お気軽にご利用下さい。

事前に「HP お問い合わせ」又は「電話」にて予約をお願いします。

☎0587-59-7000

～ 親子で楽しむ絵本の世界 ～

平山和子 作 / 福音館書店

くだもの



すいか、もも、ぶどう、なし、りんごなど子ども達にとって身近な果物がたくさん登場します。優しい描写の絵からは本物のようなみずみずしさが感じられ、思わずパクリと食べたくなくなってしまいます!